巻頭言

農薬の市民権

神戸大学　土（と）　佐（さ）　幸（ゆき）　雄（お）

還暦を過ぎて自身のこれまでの経歴を振り返ると，離れたり近づいたりしながら常に農薬が絡んできたように思う。出身は，中山間地域の農村である。小学校低学年のころは，田植えはもちろんのこと稲刈りも除草も手作業であった。その後「バインダー」「田植機」が発明・導入され，労働はかなり軽減されたが，様々な農作業に追われる日々であることに変わりはなかった。農家の子供がこれら農作業を手伝うのは当然のことであったが，一つだけ免除された農作業があった。農薬散布である。夏の暑い盛りの夕方，「農薬散布するぞ」という大人の声を聞くと，子供達は家に戻り窓を閉め，エアコンなどない部屋の中で，周囲の田圃への農薬散布が終わるのをじっと待つ。農薬散布が終わると窓を開けるが，流れ込んでくる農薬の臭いが鼻をついた。村の子供達は夏になると川で泳ぐのが常であったが，ある年突然遊泳禁止となった。田圃に撒かれた農薬が流れ込むからとのことであった。新聞では農産物・母乳等の“農薬汚染”が次々と報道されるようになった。そのような世相の中，自分達の世代が大人になるときまで日本民族は健康で存続しているのだろうかと真剣に不安を感じたことを覚えている。このように，私の農薬とのかかわりは，「アンチ農薬」から始まった。

しかし，大学に入っていろいろな本を読み漁るうちに，何かが変わり始めた。病害虫との闘いの歴史を知り，農薬が戦後の農業生産増進に果たした役割を客観的に見ることができるようになった。また，日進月歩の農薬の安全性向上の様子を垣間見ることができた。幸運だったのは，その後高知大学に職を得た際に，近くにある日本植物防疫協会高知試験場の方と一緒に農薬委託試験に携わる機会を得たことである。弟子入りしてノウハウを教えてもらいながら病害の試験を進める中で，農薬の「凄さ」を肌で感じることができた。農薬の（消費者に対する）安全性についても，様々な情報をもとに確信を得ることができた。以後，農薬に関する正しい知識の普及の一端を担うことが自分のミッションの一つと考え，できる範囲の中でそれを試みてきた。

ところが，シニアの方々に対してはこれがなかなか難しい。大学の公開講座やシニア対象の講演会などで農薬の安全性について話をすると，出席者から「あなたは農薬会社と何かの（深い）関係があるのですか」「あなたは無農薬に取り組んでいる私たちの活動が無意味だと言われるのですか」という質問（抗議）をされることもまれではなかった。やはり，昭和40年代にでき上がってしまった農薬＝悪のイメージの払拭はそう簡単ではないと思わざるを得なかった。

一方，若い世代は，データを示して解説すれば，すんなりと理解してくれるようである。高知大学時代には，年に1回講義の1コマを使って農薬問題の討論会を行い，また神戸大学に移ってからも毎年1回生を対象に農薬について考えさせる講義を行ってきた。その中では，農薬問題を「農薬なしで農業は可能か」「農薬は安全か」という二つの問いに分割し，さらに後者を「対消費者」「対生産者」「対環境」に分け，それぞれを理詰めで検討するように要請してきた。そのレポートからは，彼らが先入観にとらわれることなく，科学的データに基づいて自分の考えを構築していくのを確認することができた。また，10年間ほど，ある高校での出前講義で「農薬問題」「食料自給問題」「遺伝子組換え作物の問題」等をテーマとして出し，グループで自由研究をさせるという取り組みを行ってきたが，私が事前に何か情報を与えたり誘導したりしていないにもかかわらず，「農薬問題」を選択したグループの研究発表の結論は，サイエンスに基づいた妥当なものであった。「先生に指導してもらった？」と尋ねてみたところ，「いいえ，全部自分たちで調べて考えました」という，頼もしい答えが返ってきた。

最近は，一時期と比べてアンチ農薬の風潮はかなり和らいできているようにも思える。しかし，まだ，消費者の間に広く「市民権」を得るというところまではいっていないように思う。ある新聞社の若手がある残留農薬問題を記事にしようと関係者に取材し，専門家の意見を聞いた結果，「この程度の残留農薬は問題ない」という結論に達したが，それを記事にしようとしたところ上司に却下されたというような話も聞く。「農薬＝悪」のスタンスが社是だからだという。このような「社是」を正すのはなかなか難しいが，地道に広報活動を続けていくしかないと思う。

私は，学生によく，「農薬は空気（酸素）のようなものだ」と言っている。それは，「ないと生きていけないのに，普段は（生産者以外は）その恩恵を全く感じていない」という意味である。これからも，農薬の恩恵と安全性についての正確な知識を持つきっかけとなるよう，若者への問いかけを続けたいと思っている。

（日本植物病理学会会長）

植物防疫